

付録 用語集

あ 行		
あ	アクセシビリティ	人々があるサービスを利用するにあたり、その入り口に入るまでのサービスへの到達のしやすさ。
	相乗りタクシー	1台のタクシーを複数の乗客が利用するサービス。相乗りサービス用のアプリ等を利用して予約する。目的地の近い利用者をマッチングし、相乗りを可能にすることによって、運賃が割安になるサービス。
う	ウェルビーイング (Well-being)	身体的・精神的・社会的に良好な状態にあること。

か 行		
こ	公共交通 GX(グリーン トランスフォーメーション)	温室効果ガスの排出量を削減し、持続可能な社会の実現に貢献するため、公共交通機関の環境負荷を低減する取組。
	公共交通 DX(デジタル トランスフォーメーション)	公共交通にデジタル技術を導入し、利便性や効率性を向上させる取組。
	コミュニティバス	既存の路線バス網を補完するために、地方自治体などが運行するバスのこと。一般的には、小型の車両できめ細かな路線配置を行うことが多い。

さ 行		
さ	サイクル&ライド	鉄道駅やバス停付近に駐輪場を設置し、自転車で鉄道駅やバス停まで行き、鉄道やバスなどの公共交通へ乗り換えること。バス停まで遠い利用者などがバスを利用しやすくなる。

し	自家用車活用事業（日本版ライドシェア）	タクシーが不足している地域、時期、時間帯に対し、その不足分を補うため、タクシー事業者が地域の自家用車や一般ドライバーにより有償運送を行うもの。（道路運送法第 78 条第3号に基づく国土交通大臣許可事業）
	自家用有償旅客運送	道路運送法第 78 条第 2 号の規定に基づき、市町村又は NPO 法人等が自家用車を用いて運行する運送事業。自家用有償旅客運送には「交通空白地有償運送」と「福祉有償運送」がある。（道路運送法施行規則第 51 条） ドライバーは第二種運転免許または第一種運転免許の保有者であり、第一種運転免許保有者の場合、大臣認定講習の受講等が必要である。

た 行		
た	第一種運転免許	公道で自動車や二輪車を運転するための免許
	第二種運転免許	商業目的で人を輸送するために必要な免許
	代表交通手段	ある地点から別の地点へ移動する際の最も主要な交通手段。優先順位としては、鉄道、バス、自動車、二輪車、徒歩である。
ち	地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針	地域公共交通の活性化及び再生の意義・目標や、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律(2007 年法律第 59 号)に関する基本的な事項等を定めるもの。

て	デマンド交通	利用者の予約に応じて運行するバスの運行形態のひとつ。定時線型、ドアツードア型等がある。 〔定時線型〕 予約があった場合のみ運行。所定のバス停等で乗降する。 〔ドアツードア型〕 運行ルートやバス停等は設けず、指定エリア内で予約のあった地点で乗降できる。
---	--------	--

な 行		
の	乗合タクシー	路線バスのように乗合旅客を運送するタクシーのことで、乗車定員が 10 人以下の車両で運行する。定時定路線で運行する形態や事前に予約を受けて運行するデマンド型など、様々な運行形態がある。

は 行		
は	パーソントリップ調査	調査対象区域内に居住する人を対象に、「どのような人が、どのような目的で、どこからどこへ、どのような交通手段で」移動しているかを調査する実態調査。次回調査は 2025 年度から 2028 年度を予定。
ふ	フリー乗降区間	路線バス等において、特定のバス停（乗降箇所）を設けず、路線上のどの場所でも乗降できる区間のこと。路線の全てまたは一部の区間で設定する。利用者は、乗降時にはバスに向かって手を挙げるなどして合図し、降車時には運転手に降りる場所を伝えることにより乗降する。

ら 行		
り	利便性の高い市街地形成区域（居住誘導区域）	定住人口を確保し、住む人が便利に暮らせるよう、生活に必要なサービスの維持を図る区域

英数	
EV (Electric Vehicle)	電気自動車
FCV (Fuel Cell Vehicle)	燃料電池自動車 (水素と酸素の化学反応によって発電した電気エネルギーで走る自動車)
GTFS-JP (General Transit Feed Specification)	経路検索サービスや地図サービスへの情報提供を目的として定められた、標準的なバス情報フォーマットにおける静的情報。リアルタイムの動的情報については「GTFS-RT」と呼ばれている。
PTPS (Public Transport Priority System)	公共車両優先システム。交通管制システムとバスロケーションシステムを結合した新たな公共車両優先システム。